

平成 27 年 12 月 1 日

池田町長 勝山 隆之 様

会染保育園建設検討委員会
会長 田中 学

答 申 書

平成 27 年 7 月 7 日に依頼を受けました会染保育園建設検討に関し、委員会において慎重に検討を重ねました。

会染保育園は昭和55年建設以来、増築・改修に加え、安全確保のため平成26年度、緊急に耐震補強が行われました。

一方、同時期に建設された北保育園・南保育園は、統合により池田保育園として新築され、平成25年度より良好な環境の下で保育が行われています。

会染保育園は耐震を施したとはいえ、躯体の歪み、雨漏り、内外壁面及び水道配管の劣化等から、良好と言い難い保育環境にあり、現地調査の結果から新築された池田保育園との差はあまりにも大きい状況と言わざるを得ません。

最近の児童数の動向を見ますと、全体数での減少に対し、会染地域においては僅かではありますが増加の傾向を示しており、人口ビジョンに基づくまちづくり戦略及び今後の保育需要等から、現在の会染保育園の定数（120人）に不足が生じることも想定しておく必要性を否定できません。（11月末現在120人）

町の財政状況は、社会資本総合整備事業等依然状況が厳しい中、地方債の平準化により、会染保育園建設を行った場合においても町が指標とする実質公債費比率10%を超えないとのシミュレーションが示されています。

委員会では、こうした情報を整理し、現地調査を踏まえ利点・欠点に配慮しつつ慎重に協議を進めた結果、保育への影響を最小限に抑え、より安全な場所に、池田保育園と同等に子ども達が伸び伸びと生活できる環境を備えた会染保育園の新築が必要であるとの結論に達しましたので、以下に意見を付して答申します。

記

- 1 施設の老朽化の現状から、早急な対応が必要であり、保育への影響を最小限とするため、防災等に配慮した場所へ、新築により整備を進められたい。
- 2 耐震対策が施されている現在の施設は、町南部地域の公共施設不足を補う観点から、身近で高齢者等が集える施設としての利用について検討されたい。

■会染保育園建設検討委員

[任期] 平成 27 年 7 月 7 日～平成 29 年 7 月 6 日

	区分		役職	氏名
1	第 2 条 (1)	保育園保護者の代表	会染保育園保護者会長	西村 正樹
2			池田保育園保護者代表	市川 貢一
3	第 2 条 (2)	保育園保育士の代表	会染保育園長	大鷲奈美子
4			池田保育園長	遠藤 寿子
5	第 2 条 (3)	教育委員の代表	教育委員	田中 学
6	第 2 条 (4)	主任児童委員の代表	主任児童委員会会染区	滝沢千加子
7			主任児童委員池田区	矢口 澄子
8	第 2 条 (5)	育成会の代表	育成会長	川瀬 正士
9	第 2 条 (6)	公募委員		浅田 久子
10	第 2 条 (7)	町長が必要と認める者	議会議員	立野 泰
11				矢口 稔

■事務局

保育課 課長	勝家 健充
保育課 保育係長	那須 ゆかり